



2024年5月13日

各位

上場会社名 光村印刷株式会社
代表者 取締役社長 嶋山 芳夫
(コード番号 7916)
問合せ先 執行役員経理本部長 藤川 和典
(TEL 03-3492-1182)

特別損失の計上及び2024年3月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は2024年3月期において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2023年5月12日に公表しました2024年3月期通期業績予想について本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社の那須事業所において、産業用資材製造事業を開始するにあたり、旧生産設備の撤去費用が発生しましたので、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日）において、特別損失に固定資産撤去費用78百万円を計上しました。

2. 業績予想と実績との差異について

2024年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	150	200	150	48.97
実績値(B)	14,700	△62	56	56	18.51
増減額(B-A)	△300	△212	△144	△94	—
増減率(%)	△2.0	—	△72.0	△62.7	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	14,791	△86	△29	488	159.56

差異の理由

売上高においてはデジタル化の加速等が影響し商業印刷物及び事務用印刷物の紙媒体の需要減の影響があり減少し、利益面では、原材料費・燃料費の高騰が想定以上の長期に渡り継続していること等により、営業利益、経常利益は上記のとおりとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については特別利益として投資有価証券売却益を計上したものの、グループ全体のオフセット印刷の生産性を高める目的として川越工場の機能を狭山工場の敷地に移転・集約したことによる移転関連費用を計上、更に上記「1. 特別損失の計上」記載の特別損失を計上したことにより当初想定を下回る結果となりました。

以上